

## 経営学部派遣学生 留学体験記-1

派遣先： サンディエゴ州立大学

派遣期間： 2019年8月～2020年5月



### 1. なぜサンディエゴ州立大学に交換留学しようと思ったか？

私は英語力の向上と観光学（ホテル経営）を学ぶことの2つが留学の主な目的であり、そのどちらも果たせる大学を探したときに、一番良い大学がサンディエゴ州立大学でした。サンディエゴはアメリカの中でも有数の観光地であり、サンディエゴ州立大学は観光学で全米の大学ランキングの中でも上位に位置していることから、私の学びたいことが学べる大学でした。

### 2. 留学までの準備として、語学の勉強として取り組んだこと：

私は、交換留学に応募するにあたり、まず自分が留学先でどんな生活をしているのかをイメージしました。その際に、過去の留学経験者の報告書やインターネットで情報収集しました。語学の勉強に関しては、私はライティングとスピーキングが課題だったので、毎日英作文をしたり、大学で昼休みに開催されているトークタイムに通ったりして地道に勉強し、応募に必要なスコアを獲得しました。

### 3. 交換留学で一番嬉しかったこと：

留学中に一番嬉しかったことは、上級生向けのクラスの授業の中間試験で、クラス約40人の中で1番の点数を取ることができたことです。留学生の私は周囲に対してかなり後れをとっていましたが、試験では努力の成果が出せ、教授にも褒めてもらえたことが心の底から嬉しかったです。

### 4. 一番辛かったこと：

一番辛かったことは、私が秋学期に履修していた学生主体でイベントを企画から運営まで行う授業の中で、アメリカ人の学生に「あなたはチームに貢献していない」と直接言われたことです。私は現地の学生に囲まれた状況でなかなか自分の意見を発信できておらず、チームに迷惑をかけていることは承知していましたが、直接指摘された時はショックでした。しかし、それからは心を入れ替えて主体的に行動することができ、イベントは無事成功させることができました。当時はとても辛い思いをしていましたが、今では良い思い出になっています。

## 経営学部派遣学生 留学体験記-2

派遣先： カーディフ大学 ビジネススクール

派遣期間： 2019年9月～2020年6月



### 1. なぜカーディフ大学に交換留学しようと思ったか？

留学先大学を選ぶ際に、私は英語圏の大学に留学をしたいと考えていました。当初希望していた米国の大学への留学が叶わなくなったときに、英国のどの大学へ行きたいかと考え、自分は中高生時代にイギリスのイングランドに属するニューカッスルという都市に4年ほど住んでいたことがあり、再度イギリスに行くのであれば同じ国の中でも文化が違う地域に行きたいと考え、ウェールズの首都・カーディフにあるカーディフ大学へ留学することにしました。

### 2. 留学までの準備として、語学の勉強として取り組んだこと

- ①大学の YNU 海外短期英語研修プログラムに参加し、大学2年の夏休みの1か月間をアメリカのポートランドにホームステイで滞在しました。高校2年で日本に帰国して以降英語を用いる機会がほとんどなかったため、英語で生活する感覚を思い出すきっかけにすることができたと思います。またステイ先がホストマザー1人の家だったため、ホストマザーとアメリカ政治などについて毎晩話すことができたのは、とても良い経験でした。
- ②昨年春、新入留学生歓迎会実行委員を担当し、新たに本学の経営学部へ留学に来た学生の歓迎会を、日本人学生と2年次以上の留学生と共に企画、運営をした経験は、日常会話とはまた違う、より密なコミュニケーションを取る機会になりました。
- ③昨年の春学期、JOY生チューターを担当し、回数は限られたものの日本に初めて来た学生とコミュニケーションを図る機会がありました。

### 3. 交換留学で一番嬉しかったこと：

私が交換留学の期間を通して一番嬉しかったことは、中高生の時にイギリス・ニューカッスルで出会った友人に再会することができたことです。約5年ぶりに再会した彼には私との出会いが直接的な要因かは分かりませんが、日本という国、文化に興味を持ってもらっており、居合道という武術を日本人の先生に教わっていると話してくれました。来年は東京オリ

ンピックで日本に会おうと話したりしましたが、残念ながらその実現は難しそうです。ただ、私は、今後も様々な国の人々と出会っていく中で、少しでも日本という国、文化について伝えていきたいと思いました。

#### 4. 一番辛かったこと：

2019 - 2020 年度で留学をしていた人全てに当てはまることだと思いますが、アジアから拡大していったコロナウイルスは2020年3月にはヨーロッパ圏でも猛威を振るい始め、私自身3月末に日本への帰国を余儀なくされました。辛かったのは早期帰国を余儀なくされたこと以上に、今後の自身の進路の決め方が難しくなってしまったことです。当初の予定では私は3年次から1年間の留学に行っていたため、1年間卒業を送らせて就職活動を行う予定でした。しかし、3月末に帰国したタイミングで、これからの期間をどのように過ごしていくべきか非常に迷いました。結論としては、就職活動を行う決断をし、当時十分に就職活動への対策が出来ていなかった自分は非常に苦労しました。また帰国後も継続してオンラインで留学先の授業・試験を受けていたことに加え、本学の春学期の授業も履修していたので、3足の草鞋を履くような状況で非常に苦労しました。

## 経営学部派遣学生 留学体験記-3

派遣先： ユタ州立大学

派遣期間： 2019年 8月～ 2020年 5月



### 1. なぜユタ州立大学に交換留学しようと思ったか？

元々マーケティングやスポーツビジネスを学びたくてアメリカに留学を希望していました。その中でも落ち着いた雰囲気ユタで集中して勉強したかったからです。また、ユタ州は雄大な自然やモルモン教徒が多いことなどでも有名で、日本と異なる価値観がある場所で生活できると思ったからです。

### 2. 留学までの準備として、語学の勉強として取り組んだこと：

TOEFLのスコア獲得に向けて勉強しました。ただ問題を解くだけでは性格的にも飽きが来てしまうと感じていたため、自分が好きなNBAのニュースを英語で読んだり、英語実況で見たりしていました。Writingは留学経験者に添削をしてもらい、Listeningはトークタイムに参加するなど周囲の力をよく活用することも大事だと思います。

### 3. 交換留学で一番嬉しかったこと：

留学開始二か月目にあつた授業のプレゼンで先生に名指しで褒められたことです。英語の上手さよりも、授業に臨む態度や授業を通じての成長を主に認めていただいたので、この調子で残りの留学期間も頑張ろうという気分になりました。

### 4. 一番辛かったこと：

就活イベントと中間テストで忙しくなってきたこと、そして留学に変に慣れてしまったことなどで精神的に追い込まれた時です。ひとまずやらなくてはいけないことだけ片付けて、その後一日何もせず気を休める日を作ってリフレッシュできましたが、今までにない心境になったので大変でした。ただ今ではこれを乗り越えたことが大きな自信に繋がっています。